



中学校の部活動地域移行について

問 指導者の確保について、種目によっては指導者の数が足りなかったり、会場が分散したりするとより多くの指導者が必要になると思うが、市ではそれらにどう対応していくのか。

答 指導者は、兼職兼業を希望する教職員や地域人材及び県で行っている人材バンク、クラサポの活用などを検討している。

問 指導者とは別に事務局を設置すべきと思うが、市の考えを伺う。

答 旭市部活動地域移行推進協議会では、地域移行に向けて運営事務局を設置し、指導者が指導に専念できる環境整備を行い、生徒たちにとって充実した部活動となるように準備していきたいと考えている。

中学校の統合計画について

問 地域検討会議の設置時期について伺う。

答（仮称）北統合中学校は令和7年に、（仮称）南統合中学校は令和8年度から9年度に、（仮称）東統合中学校は令和10年度以降をめどに地域検討会議の設置を検討している。

問 北統合中学校の再編について行ったアンケート調査の結果を伺う。

答 中学校の再編については「賛成」が82%。再編の時期については「5年から10年以内」を望むが76%だった。

旭市水道ビジョンについて

問 老朽化が進む、東総広域水道企業団の旭市への送水管更新計画について伺う。

答 旭支線、千潟支線及び西幹線の更新は、令和7年度から詳細設計を行い、令和8年度から工事に着手し、令和13年度に完了の予定。

問 旭市の水道管路の更新計画について伺う。

答 優先順位を設定し、順次最新の耐震管への布設替えを行う。重要給水管路、老朽化管路等は令和4年度から、基幹管路は令和6年度から工事を進めている。



新庁舎 消防本部東部分署に関して

問 海上分署と飯岡分署が統合され、中間付近に新消防分署庁舎が建設された。人員が集約され、迅速かつ多様な出動が可能となり、災害対応力の強化が図られるとのことだが、消防本部東部分署の役割と機能を確認したい。

答 役割としては海上・飯岡地域の防災を担い、火災の予防、警戒、鎮圧及び救急業務、その他災害の防除及び災害による被害を軽減することを任務としている。高度な技術と知識を習得するため、車庫屋上に高所訓練タワー車庫側面には放水訓練施設や消防設備等を整備し、災害対応力の向上を図っている。

問 二つあった施設が、一つになるということは、施設との距離が離れる住民が増え、車両数も2施設合わせた数よりも若干減少する。緊急時の対応を機能強化で補うことができるのか。

答 統合することで人員が集約され、東部分署の勤務人員は30名となる。3部制の交代勤務で、各部10名。部隊は消防隊2隊専任の救急隊1隊の計3隊体制。専任の救急隊とすることで、2名以上の救急救命士を配置し、救急業務に専従することができ、より高度な救急業務、救急救命処置を実施することが可能となる。

干潟地域の持続的発展に関して

答 林議員の提案に大変感謝する。議員の皆様と執行部が一緒に頑張って、干潟地域をさらに盛り上げていきたいと考えている。

その他の質問事項

○令和7年度当初予算案に関して

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。